

令和7年2月26日

秋田ヘアビューティカレッジ

校長 小野繕永 様

学校関係者評価委員会

委員長 佐藤敏雄

学校関係者評価委員会報告

令和6（2024）年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 佐藤敏雄（潟上市議会議員 副議長）
- ② 沼田直子（株式会社 GENIE ニコドロップ店長）
- ③ 藤谷大和（有限会社ディーキューブ 取締役）
- ④ 加藤直樹（株式会社ビー・エイチ 代表取締役）

2 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回 令和6年7月18日（木）

（会場 秋田ヘアビューティカレッジ 実習室）

第2回 令和7年2月25日（火）

（会場 秋田ヘアビューティカレッジ メイク・ネイル室）

3 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

別紙

I 重点目標について

- ・特に意見なし。

II 各評価項目について

1 教育理念・目的・育成人材像

- ・特に意見なし。

2 学校運営

- ・組織図はあるが、具体的な業務内容と役割分担を可視化してはどうか。
- ・「360度評価」は、学校法人の職員に対する評価方法として適切か。
- ・授業評価は、先生に対する敬意を量るものとなっているか。今の学生は、説得するのではなく、納得させることが重要であり、先生もレベルアップして圧倒的な存在でなくてはならない。

3 教育活動

- ・規律や思いやりについて考えさせる指導があってもよい。
- ・ネイリストを目指しているにもかかわらずプロのネイルの仕事を見たことがないと言っている学生がいる。そのような学生に対してネイルサロン実習を取り入れてはどうか。

4 学修成果

- ・秋田ヘアビューティカレッジを卒業後に美容業界を離れていく者の数を把握しているか。

5 学生支援

- ・退学率低減のために入学時の面接において「本校を不合格であった場合にはどうしますか」という設問を取り入れてはどうか。入学前から本気度をはかることができるのではないか。
- ・保護者も一緒に面接（親子面接）の実施を検討してはどうか。

6 教育環境

- ・特に意見なし。

7 学生の受入れ募集

- ・美容を目指すきっかけを探ることは大事。

8 教育の内部保証システム

- ・特に意見なし。

9 財務

- ・財務基盤を安定させるひとつの方策として、入学定員を増やしてはどうか。

10 社会貢献・地域貢献

- ・ブラウブリッツ秋田のネイルボランティアに参加した方から高評価を得ている。
- ・グループのメリットを活用して介護施設や保育施設でボランティア活動を行ってはどうか。学生にとっては経験するだけでも有意義である。
- ・ダンス関係者への積極的な協力も有効。